

### 黒潮等の概況

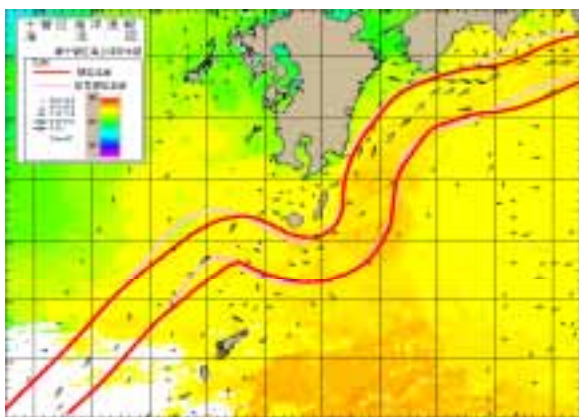
黒潮流軸付近の表面水温は25～26 台で、前号と比べ、1～2 の下降となっています。

流軸の位置と水温	今号(10月28日～11月10日)			前号(10月14日～10月27日)		
	方 向	距 離	水 温	方 向	距 離	水 温
奄美大島(曾津高埼)	NW	85NM	26	NW	90NM	27
屋久島(黒崎)	W	45NM	25	W	70NM	27
種子島(門倉埼)	S	35NM	26	S	35NM	27
都井岬	ESE	25NM	26	ESE	25NM	27

### 沿岸域の水温

沿岸海域の表面水温は22～24 台で、前号から同温～3 の下降となっています。

海 域	今号(10月28日～11月10日)	前号(10月14日～10月27日)
鹿児島湾	22 台	23～25 台
甑島列島～薩南海域	22～23 台	24～25 台
大隅海峡～種子島・屋久島	23～25 台	24～25 台
日向灘沿岸域	22～24 台	25～26 台



十管区海洋速報  
(海流図+NOAA画像)



### 海の水はなぜ塩辛い？

地球の表面の7割を占めると言われる海洋は塩辛い海水からなっています。海水には、食塩のもとであるナトリウムイオンや塩素イオンなどの天然にある元素が溶け込んでいて、これが塩辛さの原因になっています。

地球が誕生した約45億年前の地球では、地球内部から吹き出した多量的气体の中に、水素や水蒸気、塩素が含まれていました。地球の温度が下がると、水蒸気は水となり雨となって地上に降りそそぎ、海となりました。塩素ガスは水にとけやすいため、海にとけこみ塩酸の海となりましたが、長い年月の間、海中の岩石を溶かして酸性から中性に変化して現在のような海になりました。塩辛さの元は、大昔の塩酸の海が岩石を溶かし、その成分のひとつであるナトリウムイオンと塩素イオンが影響しているものと言われています。

その他、海に関する情報に関しては、海の相談室をご利用ください。

URL : <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN10/>